

室蘭市（市立室蘭総合病院）会計年度任用職員採用試験申込書

受験 区分	学 歴	※ 大学卒 短大3卒 短大2卒 高校卒	職 種	※	受 験 番 号	※ 第 号
フリガナ					性 別	男 ・ 女
氏 名					本籍地	都 道 府 県
生年月日	昭和・平成 年 月 日生（満 歳）				写真貼付  (縦4cm×横3cm)	
現住所：〒	電話（ - - ）					
上記住所以外の連絡先：〒	電話（ - - ）					
学 歴	学 校 名	学 部 名	専攻課程	卒 業（見 込）年 月		
高 校				卒 業	年 月	
・ 大学				卒 業（見込）	年 月	
・ 短大				卒 業（見込）	年 月	
・ 専門学校				卒 業（見込）	年 月	
・ その他				卒 業（見込）	年 月	
職 歴（パート・アルバイト、無職の期間等も記載し、空白期間の無いように記載すること。）						
勤 務 先(部課名等も記載)		所 在 地	職 務 内 容	在 職 期 間		
				年 月 日～ 年 月 日		
				年 月 日～ 年 月 日		
				年 月 日～ 年 月 日		
				年 月 日～ 年 月 日		
				年 月 日～ 年 月 日		
				年 月 日～ 年 月 日		
資格・免許(公的なもの及びこれに準ずるもの。取得見込みの場合も記入することとし、区分を○で囲むこと。)						
名 称(種別)		取得(見込)年月日	区 分	免許証番号等		
		年 月 日	取得・見込			
		年 月 日	取得・見込			
		年 月 日	取得・見込			
パソコンの使用(ワード・エクセル等の操作)				□可 ・ □不可		

<p><b>1. 再度の任用について</b>  2回目の再度任用までは人事評価等により翌年度の任用を決定します。3回目の再度任用を希望される場合は面接試験の受験が必要です。  なお、<u>再度任用は、会計年度任用職員としての任用を決定するものであり、同じ職種や勤務場所での任用を保証するものではありません。前年度とは異なる勤務条件での任用となる場合がありますので、ご承知おきください。</u></p>	<input type="checkbox"/>	左記の「1. 再度の任用について」をよくご覧になり、内容をご理解、確認されましたら自筆でチェックをしてください。
<p><b>2. 兼業について</b>  他の事業所との兼業を希望する場合は、届出が必要です。届出には、次の項目をすべて満たしている必要があります。  ① 兼業先の業務と勤務時間が重複しないこと。  ② 1日の合計就労時間が8時間を超えないこと。  ③ 1週間の合計就労時間が40時間を超えないこと。  1週間のうち、少なくとも1日の休日（どちらの業務もない日）があること。  兼業先の業務が、当院の会計年度任用職員の身分上ふさわしくない性質をもたないこと。</p>	<input type="checkbox"/>          <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	左記の「2. 兼業について」をよくご覧になり、内容をご理解、確認されましたら自筆でチェックをしてください。  採用後の兼業予定について、当てはまる事項にチェックしてください。 兼業する 兼業はしない
<p><b>3. 欠格事項について</b>  地方公務員法第16条（欠格事項）に該当する方は受験できません。  ※地方公務員法抜粋  （欠格事項）  第十六条 次の各号のいずれかに該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。  一 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者  当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない者  人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、第六十条から六十三条までに規定する罪を犯し刑に処せられた者  日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者</p>		
<p>私は、受験要件に該当し、市立室蘭総合病院会計年度任用職員採用試験を受験したいので申し込みます。  また、この申込書のすべての記載した事項は、事実と相違ありません。  令和 年 月 日  (氏名) 自筆による署名</p>		

※欄は、記入しないでください。

記載欄が不足する場合は、別紙(様式は任意)として添付してください。